

オーストラリア

■ オーストラリアの概要.....

オーストラリアの国土の広さはヨーロッパ全体の約7割（世界5位）に匹敵し、南緯31度から43度に位置する。東端のニュー・サウス・ウェールズ州から西端の西オーストラリア州まで3000kmに渡りワイン産地が点在している。BYOの文化が浸透。1788年、イギリス人のアーサー・フィリップ大佐によりシドニー周辺でぶどう栽培が始まった。1825年には「オーストラリアのワイン用ぶどうの父」と称されるジェームズ・バズビーによってニュー・サウス・ウェールズ州のハンター・ヴァレーに本格的なぶどう園が開設される。1840年代にはパロッサ・ヴァレーにドイツからやってきた人々がワイン造りを始める。そのため、クレア・ヴァレーやイーデン・ヴァレーが屈指のリースリング産地となった。1877年、ヴィクトリア州でフィロキセラが発見。

■ オーストラリアのワイン法.....

1993年にG.I. (Geographical Indications) が導入され、GICが認定する権限を持ち現在では114のGIが認められている。産地、ヴィンテージ、ぶどう品種をラベルに表示する場合は85%以上そのぶどうを使用していなければならない。オーストラリアのワインには酸化防止剤、保存料の表示が義務付けられその番号がラベルに記載される。

200：ソルビン酸

220：亜硫酸（二酸化硫黄）

300：アスコルビン酸（ビタミンC）

■ 主要ぶどう品種.....

白ぶどう	黒ぶどう
シャルドネ (3位)	シラーズ (1位)
ソーヴィニヨン・ブラン	カベルネ・ソーヴィニヨン (2位)
セミヨン	メルロ

■ オーストラリアのワイン産地.....

順位	栽培面積	生産量
1位	南オーストラリア州 (50%)	南オーストラリア州 (50%)
2位	ニュー・サウス・ウェールズ州	マレー・ダーリングとスワン・ヒル
3位	ヴィクトリア州	ニュー・サウス・ウェールズ州

オーストラリアの産地は最も大きな「州」、「地域 (Zone)」から「地区 (Region)」、「小地区 (Sub Region)」に分かれる。

【西オーストラリア州 (Western Australia)】

西オーストラリア州は国内生産量の2%ほどしかないが、品質は最高級。

▶ スワン・ディストリクト (Swan District)

地中海性気候で暑いですが、フリーマントル・ドクターと呼ばれる海風により和らげられている。シュナン・ブランが有名で、酒精強化ワインも造られる。

▶ マーガレット・リヴァー (Margaret River)

最西端の産地で、ジョン・グラッドストーンズ博士の研究でこの土地がボルドーに似ていると指摘し、サブリージョン化を提案。

【南オーストラリア州 (South Australia)】

国内生産量の約50%を占め、フィロキセラの被害が未だに無い生産地。

▶ バロッサ・ヴァレー (Barossa Valley)

オーストラリアで最もシラーズが有名で、栽培面積の半分を占める。

▶ イーデン・ヴァレー (Eden Valley)

標高400~550と高く、冷涼。リースリングが有名。

▶ アデレード・ヒルズ (Adelaide Hills)

▶ クレア・ヴァレー (Clare Valley)

リースリングが有名。

▶ マクラーレン・ヴェイル (McLaren Vale)

▶ クナワラ (Coonawarra)

海洋性気候で、カベルネ・ソーヴィニヨンが有名。テラロッサ (赤い土壌)

が有名。州の南東端に位置する。

▶ カンガルー・アイランド (Kangaroo Island)

【ヴィクトリア州 (Victoria)】

▶ ヤラ・ヴァレー (Yarra Valley)

最高級ピノ・ノワールの銘醸地。

▶ モーニントン・ペニンシュラ (Mornington Peninsula)

▶ ジロング (Geelong)

▶ ゴールバーン・ヴァレー (Goulburn Valley)

▶ ヒースコート (Heathcote)

【タスマニア州 (Tasmania)】

白ぶどうはシャルドネ、黒ぶどうはピノ・ノワールが有名。

ニュージーランド

■ ニュージーランドの概要.....

南緯 35~45 度に位置し、北島と南島に分かれる南北 1600km の細長い産地。

気候は海洋性気候で「一日の中に四季がある」といわれるほど気温差がある。

1819 年にニュージーランド北島のケリケリ (Kerikeri) に聖公神父サムエル・マースデンが苗木を植樹。実際にニュージーランドで最初にワインを造ったのは「オーストラリアのブドウ栽培の父」と呼ばれるジェームズ・バズビー。

ソーヴィニヨン・ブランが生産量の 7 割を占め、輸出量の 85%以上を占める。

99%以上のワインがスクリュューキャップを使用している。

ニュージーランドのワイン法は G.I. でルールは 85%ルール。現在では 18 の生産地が認定されている。

■ 主要ぶどう品種.....

白ぶどう	黒ぶどう
ソーヴィニヨン・ブラン (1位)	ピノ・ノワール (2位)
シャルドネ (3位)	メルロ
ピノ・グリ	シラー

※ソーヴィニヨン・ブランはマールボロが最大産地

※ピノ・ノワールはマーティンボロ、セントラル・オタゴが主要産地

■ ニュージーランドのワイン産地.....

栽培面積順位	生産地
1位	マールボロ (Marlborough)
2位	ホークス・ベイ (Hawkes Bay)
3位	セントラル・オタゴ (Central Otago)

【北島】

▶ ノースランド (Northland)

ニュージーランドの**最北端**であり、**ワイン用ぶどうが初めて植えられた土地**。

▶ オークランド (Auckland)

クメウ (Kumeu)、**マタカナ (Matakana)**、**ワイヘケ・アイランド (Waiheke Island)** の3つのGIがある。

▶ ギズボーン (Gisborne)

ニュージーランド**最東端**の地。日照時間が最も長い産地のひとつで、ドイツのベッカー博士の下、**ミュラー・トゥルガウ**が栽培された。

▶ ホークス・ベイ (Hawke's Bay)

2番目に大きな産地。**ボルドータイプ**のワインが有名。GI **セントラル・ホークス・ベイ**がある。**ギンブレッド・ヴランヴェル**地区、**ブリッジ・パ・トライアングル**地区がある。

▶ ワイララパ (Wairarapa)

ピノ・ノワールが有名で、日本人造り手の**クスダ・ワインズ**が所在。

GI **マーティンボロ**、GI **グラッド・ストーン**、**マスタートン (サブ)** が有名。

【南島】

▶ マールボロ (Marlborough)

ニュージーランド最大の産地。ワイラウ・ヴァレー、ノーザン・カンタベリー、アワテレ・ヴァレーの3つのサブリージョンが存在する。

▶ ネルソン (Nelson)

▶ カンタベリー (Canterbury)

▶ セントラル・オタゴ

世界最南端でニュージーランドで最も標高が高い。国内で唯一半大陸性気候。

ピノ・ノワール国内生産量の約7割を占め、世界三大ピノ産地の一つ。

※ノースランド、オークランド、ネルソンのみが西岸で残りは東岸